

1. 火山と共に生きる鹿児島の人々

(1) 資料Ⅰは、噴煙を上げる桜島と鹿児島の市街地の様子です。

- ① 鹿児島市の人口は、
およそ何万人だろうか。

およそ 60 万人

- ② 桜島の噴火が鹿児島市とその周辺の地域で暮らす人々に与える影響と、その対策や工夫を下の①～④に記入してまとめてみよう。



噴火の影響	人々の対策や工夫
火山灰が降ったり積もったりする。	① (例) 傘を差したり、ハンカチで口や鼻を覆ったりする。
	② (例) 天気予報の風向きを見て洗濯物を干すかどうか判断する。
	③ (例) 火山灰を専用の回収袋に入れて集積所に集める。
④ (例) 噴石が飛んだり、火砕流が発生したりする。	コンクリート製のシェルターを造る。
	避難訓練を行い、避難する経路を確認している。

2. 火山がもたらした豊かな恵み

(1) 火山がもたらす恵みにはどのようなものがあるか、考えてみよう。

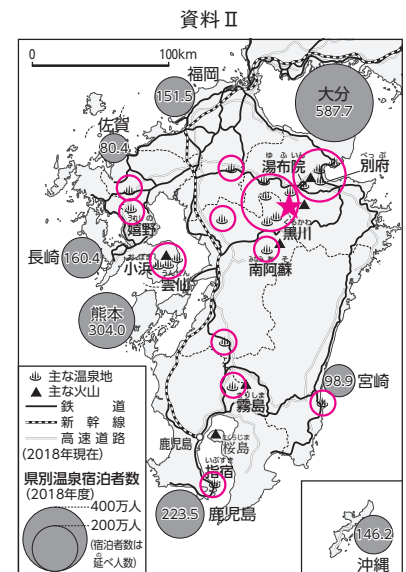
(例) 温泉が湧く、地熱発電ができる、雄大な景色を見ることができる など

- (2) ① 資料Ⅱで、主な温泉地を赤丸で囲んでみよう。
② 九州地方で温泉が多く分布しているのはどのあたりだろうか。

(例) 火山の近くに温泉が多い。

- (3) 資料Ⅱに、資料Ⅲの地熱発電所がある場所を★で示してみよう。

資料Ⅲ ハ丁原地熱発電所



本時のまとめ

◆ 火山が人々の生活や産業に与えている影響について説明しよう。

(例) 火山が噴火することで、人々の行動に制限が加わったり、災害が発生して命の危険につながったりすることもあるが、温泉が多く観光客がやってきたり、地熱で発電が出来たりする恩恵もある。